斡旋

伊藤貴晴　作

　　男１　若者

　　男２　老人

　　廃ビルの最上階。男１が登場、やや遅れて男２が登場。

男２　いやぁ、どうもすみません。この年になるとどうも階段を上るのも大変でね

男１　いや、別に構いませんよ

男２　お待たせしました。こちらになっております

男１　へぇー

男２　どうです、なかなかいいでしょう。見晴らしもいいんですがね、何より、高さが申し分ない

男１　はい

男２　私のとこでは、皆さん気に入ってくれるんですよ。今まで、もう、７人はここに決めてもらえました。ウチの一番のお薦めの所です

男１　そうなんですか。いやぁ、なかなか気持ちの良い所ですね

男２　いいでしょう？

男１　はい

男２　どうですか？他にこんな条件の所はないですよ

男１　はい、じゃあここに決めます

男２　ありがとうございます。いやぁ、やっぱり飛び降りが一番いいですよ。他にもね、首吊りやら何やら方法は色々あるんですがね、やっぱり高い所から飛び降りるのが一番気持ち良いんです。この高さだったらね、即死ですよ。もう、痛いって思うヒマもないくらいです。中途半端な高さだとね、ちゃんとできなくて病院に運ばれちゃったりするんですけど、ここならそういう心配もありません。死体をどけた後に、警察が体の形をチョークで書くじゃないですか。あれがね、結構おもしろい形になるんですよ

男１　へぇ、そうなんですか

男２　勢いがありすぎると多少飛び散ったりもするんですけど、飛び散ったのもちゃんと後で回収しますから、その辺は安心して下さい

男１　はい

男２　それではですね、思い立ったら吉日という言葉もございます。早速行ってみましょうか。どうぞ

男１　え？

男２　ぱっと飛べばいいんです、飛べば。ああ、手すりが邪魔だっていうんなら、あっちの階段下りた所に手すりのない所もありますよ

男１　いえ、そうじゃなくて。今やっちゃうんですか？

男２　もちろんですよ

男１　いや、まだ心の準備が

男２　ダメですよ、そんなこと言ってちゃ。そうやってタイミングを逃してきた人を私は今まで何人も見てるんです

男１　飛び降りって、やっぱり怖いですね

男２　何だって一緒ですよ。首吊りにしても服毒にしても、その一歩を踏み出すのは非常に勇気が要るんです。だからあなたもその一歩を踏み出さないと

男１　いやぁ、それは分かってるんですよ。勇気を持って踏み出さないと

男２　その通り。若いのに立派な方だ

男１　でも、いざって時になると足がすくんじゃうんです

男２　そこを乗り切れば、新しい未来が拓けるんですよ

男１　そうですね。でもなぁ

男２　ひょっとして、まだ何か未練でもあるんですか？

男１　未練っていう程のもんじゃないです

男２　というと？

男１　何か、こんなに軽々しく自殺なんかしていいのかなって

男２　いいんですよ。流行ってますから、自殺。そういう時代なんです。時代の流れに逆らって無理して生きるよりも、パっと死んじゃえばいいんですよ

男１　そうですか？

男２　そうだ、もしよかったら、どうして自殺しようと思ったか教えてもらえませんかね

男１　大した理由なんかないんです。もう僕なんか生きてたってダメだって

男２　ああ、なるほど

男１　就職活動をしてるんですけど、なかなか決まらなくて

男２　就職難ですからね

男１　どれだけ面接受けてもダメで。それで思ったんです。ひょっとして僕は就職に向いてないんじゃないかって

男２　そこに気付いたのは素晴らしい。向いてないことを一生懸命やってみてもうまくいきませんからね

男１　そうなんです。ニートも考えたんですけど、ほら、ニートって流行ってるじゃないですか。でも親には迷惑かけたくないし

男２　賢明な選択ですよ。当方で自殺していただくと、生命保険諸々がご家族にもかなり還元されますからね。それにその後のサービスも充実しております。身辺整理もキチっとして、葬儀やお墓も立派なものをご用意させていただきますよ

男１　はい。だからその方がずっといいと思って

男２　おっしゃる通り。生きててもね、いいことないんですよ

男１　そうですよね

男２　私はこの仕事で色んな人を見てきましたから、分かるんです。あなたは見るからに幸が薄い

男１　そうなんです。幸薄いんです

男２　働こうとしても上手くいかなくて、運良く就職しても上司とうまくいかなくて、胃潰瘍で入院して、会社が潰れて、それで結局首吊ったりするんですから

男１　ああ、そうかもしれませんね

男２　結婚して家庭を持ったら幸せだって思ってる人もいますけどね、そんなこともないんですよ。全然相手が見つからなくて、お見合いして、結局夫婦仲がうまくいかなくて、子どもがグレて、家庭が崩壊して、息子に刺されるかもしれないんですから

男１　最近はそんな事件が流行ってますよね

男２　結婚なんかするもんじゃないですよ

男１　でも僕はちょっと結婚に憧れてるんです

男２　そうなんですか？

男１　そんな幸せな暮らしができたらいいなぁって

男２　私の話聞いてましたか？いいことないですよ？

男１　でも、そうなるとは限らないでしょう？

男２　まあ、そりゃあそうですけど

男１　実は、いいなって思う人もいるんです

男２　結婚したい相手がいる？

男１　結婚なんか今は考えられませんけど。付き合ってるわけでもないし

男２　なるほど。片思いですな

男１　恥ずかしながら

男２　よし、じゃあその人に電話しなさい

男１　今ですか？

男２　そうですよ

男１　電話してどうするんですか？

男２　フラれなさい

男１　はい？

男２　フラれたら未練なくすっぱり死ねるでしょう

男１　そりゃそうですけど

男２　大丈夫ですよ。どうせフラれますから

男１　勝手に決めないで下さいよ

男２　話の流れで分かるじゃないですか。ああ、ダメそうだなって

男１　そんな

男２　大体死のうって言ってる人が好きだ何だ言ってちゃいけません

男１　それはそうかもしれませんけど

男２　でしょう？だからそんな気持ちはさっさと捨てないと

男１　……

男２　さ、早く電話しましょう

男１　あの、今回の話はキャンセルってことにしてもらえませんかね？

男２　キャンセル？

男１　もやもやした気持ちのまま死ぬのは確かによくないですよね

男２　そりゃそうです

男１　どうせフラれるかもしれませんけど、ケリをつけた方がいいと思って

男２　だから今ケリをつけたらいいじゃないですか

男１　今すぐっていうのはどうも

男２　そんなこと言わないで

男１　あ、じゃあ延期にします。彼女にフラれたらまた来ますから

男２　困りますよ、そんなの

男１　気持ちの整理をしたいんです

男２　今さらそんなことを言うんですか

男１　将来のこととか考えてたらもうちょっと生きてるのも悪くないかなって

男２　会社が潰れて家庭が崩壊して息子に刺されるんですよ

男１　大丈夫です。今まで何とかやってこれましたから。これからもきっと大丈夫です

男２　ポジティブだな、あんた

男１　ひょっとしたらいいことがあるかもしれないじゃないですか

男２　悪いことだってたくさんありますよ

男１　でももう少しがんばってみたいんです

男２　たとえ最終的に自殺することになっても？

男１　はい

男２　死のうと思った時に死ぬのが一番ですよ。でないと、ああ、あの時死んでおけばよかったって後悔することになるんだから

男１　ええ、それは分かってます。でも、やっぱり今すぐにって気にはなれないんです

男２　つまり、あなた、まだ死にたくないと？

男１　……はい

　　男２の口調が変わる。

男２　それじゃ困るんだよ

男１　え？

男２　いるんですよね、土壇場になって、やっぱりやめますって言う人。死ぬのがそんなに怖いのかねぇ、情けない

男１　何なんですか、一体？

男２　あなたが自分で死にたいって言ったんでしょう。だからこうやって、死に場所まで斡旋して、自殺した後の面倒も全部見ようって言ってるんじゃないですか

男１　それは申し訳ないと思ってます。だからもし今後自殺することがあったらぜひここで

男２　もし？そんな話はありえませんよ。一度逃げ出すと、死のうなんて気はなくなるんだ

男１　そんなこと

男２　そんなことないって？実際、今、あなたは逃げ出そうとしている。ここから、死ぬことから。いいんですよ、そういう方はたくさんいらっしゃいます。でもね、もう契約は交わしたんだ。死んでもらわなきゃ困るんですよ

男１　あなたの何が困るって言うんですか

男２　これが私の仕事だからです。残念だなぁ。ここから飛び降りれば楽に死ねたのに。私が手を下すとなると、多少痛みを伴いますよ。あっちの、上ってきた長い階段、あの下の踊り場、どうなってましたかね？

男１　踊り場？

男２　何年も放置されてますからね、老朽化がひどくて、柵がなくなってるんですよ。あなたは階段を転げ落ちて、勢いをつけてそのまま地面へ

男１　それは自殺じゃなくて殺人でしょう？

男２　同じですよ、結果はね。大丈夫、ちゃんと警察は呼びます。事故現場を検証してもらわないといけませんからね

　　二人はいつの間にか階段の前に立っている。

男２　それでは、さようなら

　　男２は男１を突き飛ばす。男１は階段を転げ落ちる。男２の口調が元に戻る。

男２　毎度、ありがとうございました

　　男２は階段を下りていく。

　　終わり。